

社会福祉法人 足柄緑の会

令和３年度事業報告

目 次

1	社会福祉法人足柄緑の会	1～5
2	法人利用者状況等	6～12
3	コスモス学園中沼ジョブセンター	13～20
4	コスモス学園中沼ジョブセンター 生産事業部	21～24
5	コスモス学園中沼ケアセンター	25～27
6	居宅介護事業所それいゆ	28～29
7	コスモス学園松田センター	30～35
8	相談支援事業所あすなろ	36～38
9	コスモスホーム	39～42

1. 社会福祉法人足柄緑の会

1. 概況

(1) 新型コロナウイルスの状況

1月17日（月）から利用者、職員合わせ陽性者が3名出て、保健所、神奈川県
の指示のもと、同19日（水）から28日（金）まで、コスモス学園中沼ジョブセ
ンター（以下、「中沼ジョブセンター」という）、コスモス学園中沼ケアセンター（以
下、「中沼ケアセンター」という）を休所とした。

2月18日（金）から再び陽性者が出始め、利用者、職員合わせ35名に達し
た。保健所、県からの指示のもと、中沼ジョブセンター、中沼ケアセンター、コ
スモス学園松田センター（以下、「松田センター」という）の生活介護、就労継続
支援B型を休所（2月21日（月）から3月3日（木）まで、休所期間は事業所
により異なる）とし、コスモスホームの5ユニット中3ユニットをレッドゾーンとし
た。

B C Pの規定に基づき、本部対策チームが保健所、神奈川県との折衝と情報収集
そして、職員への指示に努めた。経過については、各方面ならびにホームページに
開示した。

コスモスホームについて、神奈川県から封じ込めができたことに対し、評価を
いただいている。

新型コロナウイルスの直接的影響として、自立支援給付費収益が、1～3月で、
5,800千円の減少となった。

次年度以降も、気を緩めることなく基本的感染症対策を継続していく。

(2) 行事

前年度と同様、納涼大会、運動会、学園祭、バス旅行等、主行事が中止となった。
成人式、クリスマス会（事業所毎）は、安全対策を十分考慮した上で実施した。

2. 法人運営

(1) 理事長の行動

各会議、ミーティング等により、職員との情報交換を積極的に行った。

(2) 体制の見直し

- ① 空席であった総合施設長を置き、経営全般の掌握、所長の取りまとめを行った。
- ② 8月に、生産事業部検討会が発足し、幹部職員により月1回、プラスチック事
業の将来についての議論を始めた。次年度も継続する。
- ③ カフェ・デ・ソルは売上不振により、理事会で、1月31日をもって廃店を決
定した。次年度以降補助金の返還、物件の原状回復工事、賃貸契約の終了手続き
を行う。

(3) サービスの質の向上

① 就労移行支援・就労継続支援B型

ア 受注・就職状況

- ・ 1、2月は、新型コロナウイルスの影響で作業は減少したが、通年としては、受注は前年と変わらなかった。
- ・ 施設外就労は、新型コロナウイルスの影響で、稼働できない期間があった。
- ・ 工賃は、中沼ジョブセンターで一人当たり月額500円程アップしたが、松田センターは前年とほぼ同じであった。
- ・ 2月に、中沼ジョブセンター就労継続支援B型から2名就職した。
- ・ フォローアップ支援は、例年通り行った。

イ プラスチック成形

- ・ 対前年113%の売上を達成した。丸善清水株式会社的大幅アップがその主要因である。自動車部品で新型コロナウイルスの影響はあったものの、他の受注で生産増に結び付けることができた。また、緊急の受注に対し、職員が臨機応変に対応できた。
- ・ 株式会社GSユアサ向けトッテの生産について、本数の不具合が発生したが、新しい計量器を導入し、その改善に努めた。

② 生活介護

利用者の意思決定に基づいた支援に努めた。いろいろな室内プログラムを計画したが、アロマセラピー、フラワーアレンジメント、セラピー犬、お茶については、新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

③ 共同生活援助（グループホーム）

本人の意向を尊重し、自立に向けた支援に取り組んだ。地域の催しはすべて中止になった。

④ 居宅介護（ヘルパー）

新型コロナウイルスの制約がありながらも、フェイスシールド装着等感染症対策を十分とったうえで、継続的に実施した。

⑤ 相談支援

対面は最小限にし、電話による相談支援を中心に行った。

(4) 職員の教育・育成

- ① 外部研修は、オンラインを中心に取り組んだ。
- ② 介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級）資格を2名取得した。今後も積極的に推進する。
- ③ 2月11日（金）、「竹の子学園新型コロナウイルス感染症との戦い」をテーマに、研修を実施し、役員も参加した。併せて、AEDの使用訓練を実施した。

- ④ 事業所説明会を西部総合職業技術校で実施し、次年度の採用に結び付いた。
- ⑤ 教育実習に専門学生1名、大学生4名の計5名が参加した。
- ⑥ 学校訪問は、直接訪問を4校、オンラインで5校実施した。

(5) 法人の社会的責任の遂行・地域における公益的な取組

- ① 10月1日(金)、「虐待防止・身体拘束対策委員会」ならびに、「災害・感染症対策委員会」を立ち上げた。
- ② 中沼ジョブセンター生産事業部は、株式会社植松電機からロケット部品成形を受注している。2月18日(金)に山北町川村小学校で、この打ち上げ体験を実施した。教職員、生徒、地域住民、マスコミ等大きな関心を寄せ、多大な地域貢献を果たした。
- ③ ISO9001の監査は特段の問題は無く、理事会に報告した。
- ④ 災害対応訓練、権利擁護支援(KWネット)、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業へ参加することにより、行政、他の福祉施設、医療機関等と連携、協働を図った。
- ⑤ 災害時BCP、新型コロナウイルスBCPの内容を更新し、リスクへの対応に取り組んだ。
- ⑥ リスクマネジメント、権利擁護に関する状況等を理事会で報告した。
- ⑦ KESは、環境改善目標を概ねクリアした。

(6) 法人の法令順守と財務安定化

- ① 幹部職員との定例ミーティングにより、情報の共有化を図り、規程の変更、業務内容の整理等を行い働き方改革に対応した。
- ② プログラムや勤務体制の工夫を図り、これを継続し、サービスの充実に努めた。
- ③ 障害者地域生活サポート事業の行動障害者支援事業補助金について、小田原市より、受給することができた。
- ④ 相談支援の新規加算を取得できた。
- ⑤ 介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)資格を新たに2名取得し、居宅介護の基本報酬が増額した。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症蔓延期間中、通所できない利用者に対する在宅支援を積極的に行い、収益の確保に努めた。
- ⑦ 最低賃金の大幅な上昇、新型コロナウイルスによる厳しい状況の中、経費節減に努めた結果、当期活動増減差額は黒字を確保できた。

3. 理事会・評議員会実施報告

(1) 理事会

令和3年度第1回理事会 令和3年5月27日(木)

第1号議案 令和2年度事業報告の承認の件

- 第2号議案 令和2年度計算書類等の承認の件
第3号議案 理事選任候補者の推薦の提案の件
第4号議案 監事選任候補者の推薦の提案の件
第5号議案 定時評議員会の招集の件
第6号議案 評議員選任候補者の推薦の提案および評議員選任・解任委員会の招集の件
第7号議案 評議員選任・解任委員の選任の件

令和3年度第2回理事会 令和3年6月28日（月）

- 第1号議案 理事長の選定の件

令和3年度第3回理事会 令和3年7月22日（木）

- 第1号議案 職員の定年年齢引き上げ（就業規則・給与規程の変更）の件
第2号議案 定款施行細則の変更の件

令和3年度第4回理事会 令和3年9月27日（月）

- 第1号議案 育児休業・介護休業・子の看護等規則の変更の件
第2号議案 業務会議規程の廃止の件
第3号議案 定款施行細則の変更の件

令和3年度第5回理事会 令和3年11月22日（月）

- 第1号議案 ハラスメント防止規程の新設の件
第2号議案 就業規則の変更の件
第3号議案 無期転換職員就業規則の変更の件
第4号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件
第5号議案 運営規程の変更の件

令和3年度第6回理事会 令和4年1月31日（月）

- 第1号議案 令和3年度第1次補正予算承認の件
第2号議案 人事考課規程の新設の件
第3号議案 整備管理規程の新設の件
第4号議案 給与規程の変更の件
第5号議案 無期転換職員就業規則の変更の件
第6号議案 パートタイム・有期雇用労働者就業規則の変更の件
第7号議案 コスモスホーム機械浴設備更新の件
第8号議案 射出成形機の取出機更新の件

第9号議案 人事異動の件

第10号議案 コスモス学園中沼ジョブセンター就労支援事業の喫茶（カフェ デ ソル）の廃止の件

令和3年度第7回理事会 令和4年3月25日（金）

第1号議案 令和4年度事業計画承認の件

第2号議案 令和4年度予算承認の件

第3号議案 役員等賠償責任保険契約の件

第4号議案 経理規程の変更の件

（2）評議員会

定時評議員会 令和3年6月22日（火）

第1号議案 令和2年度計算書類等の承認の件

第2号議案 理事選任の件

第3号議案 監事選任の件

2. 令和3年度法人利用者状況等

(1) 事業所別利用者数

令和4年3月31日付

関係機関		南足柄市			小田原市			秦野市			山北町			開成町			大井町			松田町			箱根町			横須賀市			平塚市			中井町			湯河原町			計		
事業所	障害支援区分	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中沼J C就労移行	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	2		1	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	1	1			
	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	区分なし	1		1	1	1				0			0			0	1	1	1	1		0			0			0			0			0	2	2	4			
	計	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	
中沼J C就労継続	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	2	2	2	4	5		5	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0	8	2	10			
	3	2	2	4	2		2	1	1	2	1		1	1		1			0			0	1		1		0			0		1	1	1	1	9	4	13		
	4	4	4	8	1		1	1	1	2			0	1		1			0			0			0	1	1		0			0			0	7	6	13		
	5			0	1	2	3			0			0			0			0			0			0		1	1		0			0			0	1	3	4	
	区分なし	4		4	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	5	0	5
計	12	8	20	10	2	12	3	2	5	1	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	30	15	45
中沼J C日中一時	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	2	1		1	2	1	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0	3	1	4			
	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	4			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	計	1	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4
中沼C C	3	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1			
	4	1	2	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	2	3			
	5	3	3	6	2		2	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0	6	3	9			
	6	4	5	9	2	8	10			0	1	1	2			0			0			0			0			0			0			0	7	14	21			
	計	9	10	19	4	8	12	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	19
松田C就労継続	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	2			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1			
	3			0	1	1	2	1		1			0	1		1	3	2	5			0			0			0			0			0	6	3	9			
	4			0	1	2	3	4		4			0		1	1	2		2	1	1			0			0			0			0			0	7	4	11	
	5			0	1		1		1	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	1	2
	区分なし			0			0	1		1			0	2		2	1		1	1		1			0			0			0			0			0	5	0	5
計	0	0	0	4	3	7	6	1	7	0	0	0	3	1	4	6	2	8	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	8	28
松田C日中一時	2			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1			
	3			0			0	2		2			0			0	1		1			0			0			0			0			0	3	0	3			
	4			0						0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	5			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	計	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
松田C生活介護	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	4			0	1	1	2	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0	2	1	3			
	5	1		1	4		4	1	1	2			0		1	1	1		1			0			0			0			0			0			0	7	2	9
	6	1	1	2	1	2	3	2		2	2		2	1		1	1		1	1	1	2			0			0			0			0			0	9	4	13
	計	2	1	3	6	3	9	4	1	5	2	0	2	1	1	2	2	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	7
コスモスホーム	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	2	2		2	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	3	0	3			
	3	1		1	1		1		1	1			0			0	2	1	3			0			0			0			0		1	1		0	4	3	7	
	4	2	2	4			0			0			1	1		0			0			0			1	1		0			0			0		0	2	4	6	
	5	2	2	4			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0		0	3	2	5	
	6	1	2	3		2	2	1		1	1		1	1		1			0			0			0			0			0			0		0	4	4	8	
	計	8	6	14	2	2	4	2	1	3	1	0	1	1	1	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	16	13	29
	合計	33	26	59	29	20	49	18	5	23	5	1	6	7	3	10	11	4	15	3	2	5	1	0	1	0	2	2	0	1	1	0	2	2	1	0	1	108	66	174

参考	R2年度合計	35	27	62	30	19	49	18	5	23	6	1	7	7	3	10	11	3	14	4	2	6	1	0	1	0	2	2	0	1	1	0	2	2	0	2	114	65	179
----	--------	----	----	----	----	----	----	----	---	----	---	---	---	---	---	----	----	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	----	-----

(2) 利用者年齢構成状況

令和4年3月31日付

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
就中 移J 行C	男	1								1	18.0
	女		3							3	21.0
	計	1	3							4	19.5
就中 移J 統C	男		4	9	7	10	1	1		32	35.3
	女		1	4	3	2	3	1		14	38.8
	計		5	13	10	12	4	2		46	37.1
日中 一J 時C	男			2			1			3	42.7
	女				1					1	40.0
	計			2	1		1			4	41.4
中 沼 C C	男	1	1		7	5	1			15	36.0
	女			4	8	4	2		1	19	37.9
	計	1	1	4	15	9	3		1	34	37.0
就松 勞田 統C	男		4	7	5	2	1	1		20	33.6
	女			2	3	1	1	1		8	40.3
	計		4	9	8	3	2	1	1	28	37.0
日松 中田 一時C	男		1		2	1				4	32.8
	女										
	計		1		2	1				4	32.8
生松 活田 介C	男		5	9	3	1				18	28.2
	女		1	4	2					7	27.6
	計		6	13	5	1				25	27.9
										全 平 均	33.2
										男性平均	32.4
										女性平均	34.3

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
ホ ス モ ム	男		1	2	4	4	2	2	1	16	42.0
	女		2	2	3	2	3	1		13	39.3
	計		3	4	7	6	5	3	1	29	40.7

(3) 医療状況

内科検診

実 施 日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/30	44	32		76
7/28			44	44
10/11	43	32		75
1/26			44	44
計	87	64	88	239

利用者健康診断(JA)

実 施 日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
3/8			46	46
3/14	46	29		75
計	46	29	46	121

歯科検診

実 施 日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
8/4			45	45
4/11	41	27		68
計	41	27	45	113

1/17に予定していた歯科検診が新型コロナの影響により延期

インフルエンザ予防接種(任意)

実 施 日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
11/8	39	32		71
11/17			40	40
計	39	32	40	111

(4) コスモス会(自治会)活動状況

項 目	実 施	場 所
自治会役員定例会議	11回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 会 議 室 松 田 セ ン タ ー 食 堂
全 体 会	12回/年	中 沼 ジ ョ ブ ・ ケ ア セ ン タ ー 作 業 室 松 田 セ ン タ ー 作 業 室
献 立 会 議	4回/年	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 食 堂 松 田 セ ン タ ー 食 堂
行事準備(買出し等)	中 止	
学 園 行 事 担 当	中 止	

(5) 行事实施状況

実施日	行 事 名	場 所
7/10	納涼大会(中沼ジョブセンター)	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 2 階
	納涼大会(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階 作 業 室
	納涼大会(松田センター)	松 田 セ ン タ ー
9/17	コスモス運動会(中沼ジョブセンター)	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 2 階
	コスモス運動会(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階 作 業 室
	コスモス運動会(松田センター)	松 田 セ ン タ ー
10/2	コスモスホーム利用者バーベキュー食事会	コ ス モ ス ホ ー ム
10/9	コスモス学園祭(中沼ジョブセンター)	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 2 階
	コスモス学園祭(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階 作 業 室
	コスモス学園祭(松田センター)	松 田 セ ン タ ー
12/11	コスモスホーム利用者忘年会	コ ス モ ス ホ ー ム
12/17	クリスマス会(中沼ジョブセンター)	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 2 階
	クリスマス会(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階 作 業 室
	クリスマス会(松田センター)	松 田 セ ン タ ー
1/8	成人式(中沼ジョブセンター)	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 2 階
	成人式(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階 作 業 室
2/18	レクリエーション(中沼ジョブセンター)	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 2 階
	レクリエーション(中沼ケアセンター)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階 作 業 室
	レクリエーション(松田センター)	松 田 セ ン タ ー

(6) ボランティア状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中沼JC			1	1	1								3
中沼CC													
松田C													
コスモスホーム													
イベント													
合計人数			1	1	1								3

(7) 防火・防災 訓練実施状況

実施日	訓練内容	事業所	参加人数
9/25	総合防災訓練	コスモスホーム	16
10/21	避難訓練 (火災想定)	松田センター	45
11/3	避難訓練 (火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	74
3/22	避難訓練 (地震想定)	松田センター	44
3/26	避難訓練 (地震想定)	コスモスホーム	14
合 計			193

(8) 研修・実習等受入状況

実施日	研 修 ・ 実 習 名	人 数
5/31～6/4	小田原養護学校3年生現場(校外)実習(中沼ジョブセンター)	1
6/14～6/25	小田原養護学校分教室3年生現場(校外)実習(中沼ジョブセンター)	1
7/12～7/16	小田原養護学校3年生現場(校外)実習(中沼ジョブセンター)	1
9/6	鎌倉女子大学保育実習(松田センター)	2
9/14	小田原養護学校3年生現場(校外)実習(中沼ジョブセンター)	1
10/20～10/22	小田原養護学校3年生現場(校外)実習(中沼ジョブセンター)	1
11/1～11/5	小田原養護学校2年生体験実習(中沼ジョブセンター)	2
11/22～11/26	小田原養護学校3年生現場(校外)実習(中沼ジョブセンター)	1
11/29～12/3	小田原養護学校3年生現場(校外)実習(中沼ジョブセンター)	1
3/2～3/22	神奈川福祉専門学校1年生ソーシャルワーク実習 I (中沼ジョブセンター)	1
	合 計	12

(9) 令和3年度職員配置状況

	総合 施設長	所長	部長	サービス管 理責任者	サービス提 供責任者	支援員	相談支援 専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	事務員	合 計
中沼 JC (生産事業部)		兼務	1	1		14				8			24
中沼 CC		兼務		1		22					1		24
それいゆ		兼務			1			9					10
松田C	1	兼務		1		20					7		29
あすなろ		兼務					1						1
コスモスホーム		1		1		4			21		1		28
総 務 部			1									3	4
合 計	1	1	2	4	1	60	1	9	21	8	9	3	120

令和2年度職員配置状況 <比較資料>

	所長	部長	サービス管 理責任者	サービス提 供責任者	支援員	相談支援 専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	栄養士	事務員	合 計
中沼 JC (生産事業部)	兼務	1	1		14				7				23
中沼 CC	兼務		1		22					1			24
それいゆ	兼務			1			9						10
松田C	1		1		19					7			28
あすなろ	兼務					1							1
コスモスホーム	1		1		4			21		1			28
総 務 部		1										3	4
合 計	2	2	4	1	59	1	9	21	7	9	0	3	118

(10) 令和3年度採用・退職状況

事業所	採 用	退 職
中沼 JC	1	3
(生産事業部)	1	
中沼 CC		
松 田 C	4	4
コスモスホーム	3	3
あすなろ		
それいゆ		
総 務 部		
合 計	9	10

令和2年度採用・退職状況 <比較資料>

事業所	採 用	退 職
中沼 JC	2	2
(生産事業部)	1	1
中沼 CC	5	1
松田C	3	2
コスモスホーム	2	5
あすなろ		
それいゆ		
総 務 部		
合 計	13	11

(11)令和3年度 職員研修出席状況

日 時	外 部 研 修	人 数
6/8	WEBセミナー 知的障害者の身体機能低下への対応	1名
〃	WEBセミナー 施設経営に生かすための決算分析の実践法	1名
7/6	WEBセミナー 職員の定着・確保につながる給与制度の構築法	1名
7/12	WEBセミナー 令和3年度強度行動障害対策研修・公開講座 人権擁護研修	4名
7/13	令和3年度安全運転管理者法定講習	3名
7/29	WEBセミナー 新型コロナウイルス感染症予防対策研修会	1名
8/2	WEBセミナー 令和3年度強度行動障害対策研修 応用行動分析の理論と応用	2名
8/19	令和3年度上半期整備管理者選任前研修	1名
9/3	WEBセミナー 社会福祉法人の経営力強化 ～法人経営と働き方改革～	1名
9/18、9/19	WEBセミナー 自閉症療育者のためのトレーニングセミナー	1名
9/22	WEBセミナー 神奈川県立こども医療センター医療的ケア児等支援者養成研修	1名
9/24、10/1	令和3年度初任者キャリアパス対応生涯研修(新卒対象)	3名
10/19、10/22	令和3年度初任者キャリアパス対応生涯研修(社会人経験者対象)	1名
10/21	WEBセミナー 神奈川県意思決定支援ガイドライン研修	2名
10/28	令和3年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 更新研修	2名
12/2、12/3	WEBセミナー 令和3年度リスクマネジャー養成研修	1名
12/7	WEBセミナー 新任職員人権研修 ・あおぞらプランについて ・ぶれない自分づくり	2名
12/11	WEBセミナー コロナ禍における重度障害者の運動等を通じた健康づくり	1名
12/13	WEBセミナー アセスメントから始める自閉症支援	1名
12/17～12/19	WEBセミナー 就労支援フォーラムNIPPON2021ゲームチェンジャー ～打開から破壊まで～	1名
3/4	令和3年度新任行動力強化研修(初任者キャリアパス対応生涯研修過程フォローアップ研修)	1名
3/9	理事長・施設長セミナー「職員のメンタルヘルス、若い職員の定着のためにどうしたらいいのだろう」	1名
	法 人 研 修	
6/11	新人職員研修 「障害のある方への支援」	4名
9/30～12/22	社会福祉法人足柄緑の会新職員研修	5名
— 人 権 擁 護 と 意 思 決 定 支 援 に つ い て —		
6/5	居宅介護事業所 それいゆ	4名
6/11	中沼ジョブセンター、中沼ケアセンター、松田センター、相談支援事業所あすなろ	13名
6/26	コスモスホーム	4名
2/11	・新型コロナウイルス感染予防について ・令和3年度神奈川県虐待防止・権利擁護研修「障害者虐待防止法の概要」 ・応急救護研修(AEDの使用目的・操作方法・AEDを利用した心肺蘇生法の流れ)	27名

3. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労移行支援

2. 利用者在籍状況 定員 6 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	19
女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
計	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	5	55
退所							1						1
入所												1	1

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和2年度 78.4% 1,277名

(2) 令和3年度 71.9% 1,130名

10月に1名が就労継続支援B型に利用変更し、3月に1名の入所があった。

4. 就労活動

(1) ビジネスマナー

就労経験のないメンバーとなり、座学にて以下の内容に取り組んだ。

- ① 就労に必要な力をつけるため イ、呼ばれたら返事をする。ロ、一生懸命行う。ハ、人に迷惑をかけない。ニ、自分のことは自分で行う。

4つの項目を日々目標に掲げて取り組んでいる。

- ② 挨拶、返事、身だしなみ、生活リズム、服薬管理、公共交通機関の利用法、携帯電話の使用マナー等重要性を伝えている。日中活動での作業を通じて、ビジネスマナーで学んだことを繰り返し実践した。

(2) 実習支援

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、就労準備が整わなかったため、職場体験実習は実施できなかった。

(3) 施設外就労

施設外就労先は前年度から引き続き、りんどう会館清掃、A社、B社、C社の施設外就労を行った。利用者5名、延べ240人が参加した。一般企業に出向き就労の緊張感や厳しさを学んだ。

- ① りんどう会館清掃を月・水・金の週3回行っている。
② A社の構内除草作業（窓拭き、ゴミ拾い含む）を請け負い、週に2回取り組んでいる。大企業の中で作業を行うことで緊張感もあり、身だしなみや言葉づか

いなどマナーの向上にもつながっている。

- ③ B社の作業に松田センターと共同で毎日8名～9名が参加している。企業で求められる厳しさを肌で感じ、言葉づかいや相手への思いやり、納期に間に合わせなければいけない責任感を養うことができた。

- ④ C社の育樹作業（いのちの森プロジェクト）を月4回行っている。

（4）求職活動支援

- ① 月に1回ハローワーク求人情報を検索するとともに、相談援助窓口担当者と連携し、最新の求人票を入手し就労支援を行った。

- ② 求職登録者が自分でハローワークにて求人検索ができるよう支援した。

（5）フォローアップ支援

2名の職場支援を行っている。職場環境の変化により不安要素があったが、人事担当者と話し合い環境改善を図っていただき就労継続ができた。

5. 就労移行実績

令和3年度就職者数0名

コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 34 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	33	32	32	32	32	32	33	32	32	32	32	31	385
女	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	16	183
計	48	47	47	47	47	47	47	47	47	48	48	47	567
退所		1						1				3	5
入所							1			1		3	5

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和 2 年度 117.6% 10,537 名

(2) 令和 3 年度 112.7% 10,332 名

令和 3 年度は、高齢による介護保険制度へ移行した利用者、他事業所へのサービス移行など退所される方が多く利用率 5% 減となっている。

4. 工賃実績

		上半期							下半期							年間合計
月		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	
工賃支払対象者数		41	41	41	41	41	41	246	41	41	41	41	41	41	246	492
工賃支払総額(千円)		784,119	715,099	750,569	726,899	693,369	709,869	4,379,924	755,979	738,049	729,799	647,359	621,059	701,189	4,193,434	8,573,358
延べ勤務時間数		3,161.1	3,161.1	3,177.5	3,177.5	3,079.1	3,091.4	18,848	3,230.8	3,185.7	3,173.4	2,886.4	2,730.6	3,070.9	18,278	37,126
平均工賃	時間額	248	226	236	229	225	230	232	234	232	230	224	227	228	229	231
	(円) 月額	19,125	17,441	18,307	17,729	16,911	17,314	17,805	18,439	18,001	17,800	15,789	15,148	17,102	17,046	17,426

(1) 令和 3 年度平均工賃月額 17,426 円 (前年度 16,825 円)

(2) 令和 3 年度平均工賃時給 231 円 (前年度 221 円)

B 社での施設外就労が安定的に年間を通じて受注できている。新たに、D 社より、きんたろう便広報の丁合作業を受注した。E 社からの大型案件もあり、令和 3 年度も工賃向上計画の目標値を達成できた。

5. 日中活動

(1) 奉仕活動

今年度新型コロナウイルスの影響で、外出や交流イベント等も全て中止となり、近隣地域の清掃活動等も自粛していたため、活動実績はなかった。

(2) 廃品回収

- ① 段ボール、古新聞の回収を行い、毎週火曜日に松田センターに届けた。
- ② 各家庭から持ち寄ったアルミ缶は随時、中沼ケアセンターに届けた。

(3) 健康管理

身体機能の低下が著しい利用者が増え、日々のバイタルチェックは必須の状態となっている。また、食事形態の変更を余儀なくされる利用者も増加傾向となっている。

- ① 個々の利用者健康診断結果をもとに、血圧、体重、サチュレーションの測定を導入した。

血圧測定者：2名、体重測定者：0名、サチュレーション測定者：1名

- ② てんかん発作を記録し、通院時の情報提供を行った。
- ③ 朝の作業開始前にはラジオ体操を作業室ごとに実施し健康の維持に努めた。
- ④ 給食業者と連携し、刻み食、ミキサー食、おかゆなど利用者の嚥下機能の変化に合わせて調整を行った。

(4) フリープログラム

昼休みはカラオケ、カードゲーム（トランプ、UNO）などで楽しむグループが増えた。

(5) 地域交流

新型コロナウイルスの影響により地域交流の機会を設けることができなかった。

6. 就労活動

(1) プラスチック製品の検査・計量・箱詰め・伝票作成・束ね

新型コロナウイルスの影響は最小限に留めることができ、利用者作業に大きな影響はなかった。全事業所の計量方法を統一したことで、F社からの作業は計量についてのクレームがなくなり改善が図れた。また、4月より第1作業室をプラスチック検品作業室として設定し、検査ラインも2階から降ろし、作業環境を統一化することで作業の効率化が図れた。梱包作業でも種類ごとのパレットを用意することで在庫管理まで携われるようになった。

(2) 清掃活動

清掃作業を得意とする利用者を2名増やすことができた。清掃メンバーが増えたことで、利用者の負担も軽減でき、工賃向上にもつながっている。トイレ清掃技術の向上により、学園トイレの清潔保持につながっている。

(3) 施設外就労

施設外就労先は前年度から引き続き、りんどう会館清掃、A社、B社、C社等で施設外就労を行った。利用者 19 名、延べ 1,734 人が参加した。工賃向上につながると同時に、施設外に出ることが施設内の利用者の目標になっている。

- ① りんどう会館清掃を月・水・金の週 3 回行っている。
- ② A社の構内除草作業（窓拭き、ゴミ拾い含む）を請け負い、週に 2 回取り組んでいる。大企業の中で作業を行うことで緊張感もあり、身だしなみや言葉づかいなどマナーの向上にもつながっている。
- ③ B社の作業に松田センターと共同で毎日 8 名～9 名が参加している。企業で求められる厳しさを肌で感じ、言葉づかいや相手への思いやり、納期に間に合わせなければいけない責任感を養うことができた。
- ④ C社の育樹作業（いのちの森プロジェクト）を月 4 回行っている。
- ⑤ 南足柄市から依頼され医療証、がん検診チケットの封入作業を行っている。

(4) 飲食店

新型コロナウイルスの影響等により、4 月末をもって営業を終了した。

(5) 受注作業

全ての利用者が作業を通じて日々の充実につながるよう、幅広い作業種を用意した。新規受注では、D社との新規取引ができた。各取引先からの受注量は全体的に増加した。

① B社

年間を通じて、サンプルづくりやポチ袋作業等の受注を受けている。短納期で、作業種がどんどん変わる中、ミスも少なくしっかり適応できる力がついた。

② G社

落花生袋詰め作業を受注し、1,000～1,800 袋／週を出荷している。専用計量機を第一作業室に設置し、計量、シーラー、検品、梱包を 3 名の利用者が担当し取り組んだ。また、食品シール貼り 2 階作業室にて行い、事業所内で連携しながら短納期の受注に対応した。

③ E社

ウォーターボトルのラベル貼り作業を行っている。機械貼りにて大量に出荷することができた。利用者も商品出し、検品、梱包、運搬に携わり 5 名チームで作業に取り組んだ。

④ H社

フラワーボックスの作成で、作業工程が複雑であるが、年間通じて安定した受注があるため、日々繰り返し作業行うことで 5 名の利用者が自立して完成できるようになった。

⑤ I社

かまぼこを入れる竹籠容器の検品、シール貼り、ギフト箱折を行っている。資材運搬からパレット出荷準備までを利用者で完成させられるようになった。今年度新規案件が1件増えている。

⑥ D社

南足柄市広報「きんたろう便」の丁合作業の受注がスタートした。行政広報誌や一般企業のチラシの丁合作業を行った。南足柄市世帯 16,500 世帯の丁合作業の受注を受けることができた。

(6) 就労支援

雇用前実習を4名実施し、2名が採用となった。

7. 余暇活動（共通）

新型コロナウイルス感染予防のため、令和3年度予定されていた行事は縮小して開催した。他施設との親睦機会となる「みんなのつどい」、「県西地区文化事業」も中止となり、利用者余暇のサービス提供の機会が著しく減ってしまった。

(1) 納涼大会

7月9日（土）を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、事業所内での縮小開催となった。模擬店ではクレープ作りを楽しむなど盛り上がった。

(2) 学園祭

10月8日（土）に予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、事業所内での縮小開催となった。ハロウィンをテーマに巨大大切り絵を利用者全員で完成させた。

(3) バス研修旅行

11月18日（金）に予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、通常作業を行った。

(4) クリスマス会

12月16日（金）に開催した。利用者カラオケ、出し物、職員からのレクリエーションゲームで盛り上がった。

(5) レクリエーション

今年度は運動会中止のため、9月16日（金）、2月17日（金）の2回開催を予定していたが、1回目は「運動不足にならないように」をテーマに歩数計を配り、運動月間を設けた。2回目は大雄山最乗寺に初詣外出を行った。

(6) クラブ活動

新型コロナウイルス感染予防のため、中沼ケアセンターとの合同クラブ活動は行わず、中沼ジョブセンター内で音楽クラブ、卓球クラブ、ドライブクラブ、映画クラブに分かれて毎月行った。

8. 職員研修（共通）

- （１）先進的な施設における現場研修は、新型コロナウイルス感染予防のため実施しなかった。
- （２）２名の新人非常勤職員を対象に人権研修を行った。
- （３）正職員１名が神奈川県社協主催のキャリアパス初任者研修（１０月）、キャリアパス初任者フォローアップ研修（３月）を受講した。
- （４）弁当事業は令和３年４月末をもって終了したため、スキルアップのための事業所見学は実施しなかった。
- （５）法人内研修
 - ① ６月１１日（金）正職員で研修を行い、意思決定支援、虐待防止についての研修を行った。
 - ② ２月１１日（金）正職員で研修を行った。午前の部では、新型コロナウイルス感染予防研修を行い、午後の部では、人権擁護研修と AED の操作方法についての研修を行った。

9. 事業所運営（共通）

- （１）障害特性、人権擁護、虐待防止等の研修を行った。
- （２）虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置した。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- （３）防犯、防災対策として災害時事業継続計画（BCP）を作成し、有事の際の対応を周知した。
- （４）報酬改定におけるコンプライアンスを確認し、法令の遵守に努めた。
- （５）火災・地震を想定した避難訓練を実施した。
- （６）残業・経費削減を徹底した。

10. 地域活動（公益活動、共通）

開催日	行事名	場所
５月	みんなのつどい（中止）	小田原アリーナ
７月	納涼大会（縮小開催）	中沼ジョブセンター
１０月	学園祭（縮小開催）	中沼ジョブセンター
１２月	県西地区障害者文化事業（中止）	川東タウンセンターマロニエ

11. 支援他

- （１）個別支援計画面談を１０月、３月に実施した。

(2) 中沼ジョブセンター会議を毎月1回開催した。

(3) 工賃会議を8月、2月に実施した。

(4) 利用者健診

- 健康診断を年1回実施した。
- 内科健診を年2回実施した。
- 歯科検診を年1回実施した。
- インフルエンザ予防接種を11月に実施した。
- 新型コロナワクチン接種を8月に1回目、2回目を実施、3月に3回目を実施した。

4. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 生産事業部 就労支援事業

2. 目標達成の手段・具体的方策

(1) 令和2年度比100%以上の売上を目指す。

新型コロナウイルス感染拡大の影響、J社・K社等の受注低下により引き続き厳しい状況が見込まれる。下記方策を実施することにより令和3年度の目標を達成する。
前年度比113%の売上であった。

【令和3年度総括】

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大が収束することなく、また世界的な半導体不足や樹脂原料の供給不安定により、一部製品では受注後に他社工程での部材不足が発生し、キャンセルされる等少なからず影響を受けた。また回復がアナウンスされていた自動車関連部品は結局、以前の受注量に戻ることはなかった。反面自動車部品以外の製品や新規受注は比較的好調であった。これにより従来からの薄利大量生産の自動車部品を中心とした受注構成にも変化があり、設備運用方法において大幅な見直しを迫られた。結果として今後の受注分野の裾野を広げる良いきっかけとなった。

① 既存顧客からの受注製品増加

ア F社 … 自動車電池部門・産業用電池部門

F社協力会でのつながりにより、L社より産業用電池向け製品（計3製品）の受注を獲得した。令和4年度より量産開始する。

イ J社 … 自動車部品

6月より自動車向け部品（1製品）の試作協力により正式に受注が決定した。

令和4年4月～量産開始 20～30万円/月の売上を見込んでいる。

ウ M社 … 新規エンドユーザーの開拓

3月に廃業した成形工場で生産していた製品の移管として新規エンドユーザーからの受注を受けた。年度内に量産が始まり売上は大幅に拡大した。

エ N社 … いすゞトラック向け製品の受注品目増加

海外生産部品の入荷不安定、半導体不足、モデルチェンジ等の要因が重なり新規の受注はなかった。売上としては微増となった。

② 営業力の強化・新規顧客の開拓

ア 社会福祉法人と親和性の高い業種への営業活動（例）玩具系、医療系

J社経由で医療向け製品の新規受注（計3製品）があった。令和2年度に災害により稼働が停止した成形工場の代替生産を引き受けたことをエンドユーザーに評価されたものと思われる。

大手飲料メーカーよりノベルティー品の引き合いがあったが、受注には至らなかった。営業活動は継続している。

イ 技術力を高め小ロット多品種受注に対応させる。

8月にO社より、新型モデルロケット開発協力の依頼があり全面的に協力した結果受注することができた。本格的な量産は令和4年度からとなる。

③ 成形機稼働の効率化による生産能力向上

ア 工場稼働時間内での稼働率向上に向けて効率的な生産計画を作成する。

令和2年度に更新した取出機2台の活用と成形機運用の見直しにより生産効率を高めることができた。

イ 利益率向上のため、無人稼働時間延長、製品検査・仮梱包・二次加工の自動化を進める。

M社からの新規受注品の一部で無人稼働、2次加工の自動化を実現させた。

④ プラスチック成形品の製造+組立の受注等シームレスな営業活動を行う。

M社からの新規受注案件で、金型修理・他社成形工場の紹介・加工方法の提案等で顧客の課題解決は法人のワンストップで対応した。エンドユーザーの好評価により別案件も入るようになった。

(2) 組織体制の強化を図る

① 人材の雇用・育成をする。

ア 将来のプラスチック成形工場を担える人材の育成
対象者の雇用はなかった。

イ 成形オペレーターの確保

4月にプラスチック成形経験者を雇用した。

② プラスチック分科会を中心に今後の長期事業計画について継続的に検討する。

ア 金融機関等の外部コンサルティングによる専門的なアドバイスを受ける。

さがみ信用金庫による経営相談を再開させ、2ヶ月に一度の頻度で地域の情勢の情報提供等を受け、生産事業部の状況等意見交換を行った。

8月より、生産事業部将来検討会議を開始し人材確保、今後の設備投資計画等について検討した。

プラスチック分科会は引き続き毎月実施し、売上の分析、顧客の情勢、今後の活動について検討した。

③ プラスチック成形付帯作業の効率化を計る。

ア 現状職員が実施している作業を利用者作業として移管する。

(例)製品検査・梱包・納品準備

中沼ジョブセンターとの定期会議を実施し、候補となる利用者に対しトライアル作業を提供した。

イ 治具・補助具の開発

・F社向け数量確認用の治具を開発し運用を開始した。

・新規受注品を中心に2次加工の自動化を進めた。

④ 生産活動のデータ管理（稼働率・良品率等）を行う。

新規受注・生産・在庫・出荷管理ソフトの稼働 運用中

⑤ 職員教育の実施

- ア 品質管理教育 新規受注品を主に実施した。
- イ 内部監査員の監査スキル向上 ISO9001 更新審査前に実施した。
- ウ 防災・安全教育 クレーン使用時等
- エ 成形技術者のレベルアップ教育 顧問により新規案件受注時を利用し実施した。

(3) 適切な設備投資、修繕を行う

① 設備投資計画

- ア 製品品質向上 … 検査器具の充実
- イ 原材料・製品・金型保管設備の充実
- ウ 成形機稼働時間延長 … 自動化設備
- エ 検査体制の整備 … 検査場所の整備
新規受注製品を主として対応した。

② 修繕が必要な設備

- ア エアコンプレッサーのメンテナンス、クレーンの定期メンテナンス
エアコンプレッサー年次点検、クレーン年次点検を実施した。
- イ 成形機・付帯設備
金型温度調節器（中古3台）を既存機の老朽化のため入れ替えた。

③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の推進

不良物品の廃棄、金型置場の整備を実施した。ISO9001 更新審査・F社協力会
会員等、外部関係者より綺麗な工場と評価されるようになった。

(4) 品質管理体制の強化

① ISO9001 の効果的な運用を進める

- ア 内部監査員の監査スキルの向上
- イ ISO 推進委員会議の定期的な実施
- ウ 内部監査技術研修の実施 対象者なし

② 部署職員への品質研修を実施する。

③ 成形品の測定データを分析し、安定生産に役立てる。

④ 既存作業の工程改善と品質向上を図る。

- ア 新しい計量器の導入による数量管理方法の改善
- イ 製品識別・製品管理方法の改善

1月にISO9001の3年に一度の更新審査において、品質マネジメントシ
ステムが効果的に運用されていることが証明された。

(5) 資格・免許の取得（作業に従事する者が対象）

- ① フォークリフト技能講習 対象者なし
- ② クレーン安全衛生特別教育 対象者なし
- ③ 玉掛け技能講習 対象者なし

- ④ プラスチック成形(射出成形作業)技能士資格他 対象者なし

(6) 令和3年度重点取組事項

- ① 新型コロナウイルス感染拡大等による経済情勢の悪化による売上への影響を最小限とすべく営業活動を活発化させる。

プラスチック成形に関する知見の少ない顧客との取引が増え、そのニーズに応えるため、製品設計の段階より当法人の長年にわたる知見を活かし積極的な提案を行った。また、既存顧客においても生産上の課題解決協力をした。これらの取組が新規受注につながりコロナ禍以前の受注状況に戻す道筋をつけることができた。

(主な取組)

- ・ O社…新型モデルロケットの開発
- ・ P社…ペットボトルオープナーの形状提案
- ・ K社…ビールサーバー部品金型の改修
- ・ J社…新規自動車部品の量産立ち上げ
- ・ F社…産業用電池向け部品の金型構造考案
- ・ M社…他社生産部品移管に伴う金型改修、量産化考案

※顧客は製品開発期間の短縮とコストダウン、法人は確実な受注、量産性の高い製品デザインと金型設計で双方にメリットがあった。

- ② 品質管理強化のため既存作業の再点検と改善を行う。

令和2年度に発生したF社向け製品の異品混入・数量間違いクレームの対策として、計数確認治具を開発し6月から本格運用を開始した。これにより令和3年度は同様のクレームはなくなった。

3. 令和3年度の特記事項

O社の新型ロケット開発協力がきっかけとなり、2月に地元の小学6年生を対象とした卒業記念イベントにおいてO社社長を招いた『ロケット教室』の開催に協力した。参加した児童、保護者、教職員より心に残るイベントとして高く評価された。また新聞や広報に掲載された。

5. コスモス学園中沼ケアセンター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員27名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
女	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	219
計	35	35	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34	411
退所				1									1
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和2年度 115.6% 8,210名

(2) 令和3年度 113.2% 8,005名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
11月14日	日向公民館祭り	日向公民館

※ 新型コロナウイルスの影響でその他行事は中止

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

落ち着いた雰囲気の中での活動なので、職員と話をしたい方やゆっくりと過ごしたい方が好んで参加している。利用者が横になって休む際には、間をあげ密にならないように対応した。

(2) 運動・ストレッチ

運動の流れは利用者にも浸透しており、音楽に合わせて体を動かす機会を提供できている。また、運動後はクールダウンとしてストレッチも行っている。運動後に余暇を取り入れ、より利用者が楽しめるようにした。

(3) 音楽・カラオケ

選曲できる方については、好きな曲を選んで歌うことでリフレッシュしている様子がうかがえる。選曲が難しい方については、職員が利用者の好きな曲を選曲することで表情良く過ごさせている。マイクの消毒は継続して行っている。

(4) DVD鑑賞

ゆっくりと過ごす日課として取り入れており、利用者は集中して鑑賞してい

る。また、リクエストを聞くことで、見たいDVDを見られるようにしている。

(5) 外出活動

公園までドライブし、そこで散歩をすることで歩行時間の確保、気分転換を図っている。行ける公園のレパトリーを増やした。

(6) アニマルセラピー

新型コロナウイルスの影響で今年度は行えなかった。

(7) 伝統芸能

新型コロナウイルスの影響で今年度は行えなかった。

(9) アロマセラピー

新型コロナウイルスの影響で今年度は行えなかった。

(10) 地域交流

日向公民館祭りに出展したのみで、コスモス学園の認知度を上げる活動がほぼできなかった。

(11) 全般

新型コロナウイルスの影響で余暇の幅を広げることではできなかったが、利用者個々の希望に沿った活動への参加に焦点を当て取り組んだ。

6. 就労活動

(1) 制作活動

季節ごとにその時季に応じた制作を行い、事業所内にそれを飾ることで季節感を出すことにもつながった。今年度は自主生産品の販売機会が限られてしまったため、制作を行う時間が多かった。

(2) リサイクル作業

アルミ缶回収については地域の方の協力もあり、継続して行えている。また、アルミ缶の分別についても利用者が携わる機会が増えた。

7. 余暇活動

(1) バス旅行

今年度は新型コロナウイルスの影響で中止となった。

(2) クラブ活動

今年度も密を避けるため中沼ケアセンター単独で行った。調理クラブが今年度はできず、利用者の選択の幅が狭まってしまった。

8. 職員研修

(1) Zoomでの研修が増えたため、権利擁護や障害についての研修に参加することができ、それを全体に周知することで理解も進んだ。職場内研修でもグループワ

ークやケース会議などを行えた。

(2) 6月11日(金)正職員で研修を行い、意思決定支援、虐待防止についての研修を行った。

(3) 2月11日(金)正職員で研修を行った。午前の部では、新型コロナウイルス感染予防研修を行い、午後の部では、人権擁護研修と AED の操作方法についての研修を行った。

9. 事業所運営

(1) 利用者の人権擁護については、職員全体の理解を上げるために研修内容などの周知をすることで少しずつであるが進んでいる。支援サービスの質の向上のため、引き続き職員間での話し合いの時間を確保している。また、障害特性についての理解を進められるようケアセンター会議の時に議題として盛り込んでいく。

(2) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置した。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(3) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を作成し、有事の際の対応を周知した。

10. 支援他

今年度も新型コロナウイルスの影響は大きく、余暇活動の拡充には至らなかったが、事業所内での小さなイベントを取り入れることで利用者の楽しみにつながった点もあった。その時の状況を踏まえつつ、利用者の生活の質の向上を図れることを今後も検討する。

6. 居宅介護事業所それいゆ

1. 事業内容 居宅介護・重度訪問介護

2. それいゆ利用時間・累計利用人数

(1) 令和2年度	6, 113. 5時間	6, 693名
(2) 令和3年度	5, 890. 75時間	6, 452名

3. 支援内容別利用時

(1) 令和2年度

① 身体	5, 791. 00時間
② 家事	283. 50時間
③ 移動	20. 00時間
④ 通院	19. 00時間
総利用時間数	6, 113. 50時間

(2) 令和3年度

① 身体	5, 474. 00時間
② 家事	279. 75時間
③ 移動	65. 50時間
④ 通院	71. 50時間
総利用時間数	5, 890. 75時間

今年度の総利用時間数は、昨年度より222. 75時間の減であった。通院介助、移動支援の利用は増えたが職員、利用者の方のコロナ感染があり減となった。

4. ヘルパー業務

(1) 日常生活支援

前年度同様、新型コロナウイルス蔓延の中、感染防止策を徹底し対応にあたった。利用者の介助方法など特性を踏まえた職員のスキルアップにつなげられるよう取り組みをした。今後も気になる点など職員で声をかけ合いながら共有できるようにしていく。

(2) 適切なサービス提供

コロナ禍のため相談事業所とは電話での情報共有となったが、計画書に基づいたサービス提供につなげられた。

(3) 人権擁護

外部研修にはコロナ禍のため参加はできなかったが、個々の意識を高められるようミーティングで話し合う場を設けた。

(4) 地域連携

- ① 新型コロナウイルスの影響から、担当者会議ができない状況であったが電話等で相談支援事業所と情報交換を行い連携に努めた。
- ② 県西地区あんしんヘルパーネット会議は新型コロナウイルスの影響もあり開催されなかった。
- ③ 通院介助において身体介護あり・なしの方がいて、市町村によって時間の算定が異なるため、各市町村に状況や状態を伝え検討してもらえるようにした。

(5) 守秘義務の徹底

個人情報ヘルパー同士で共有することが多いことから、情報漏洩がないよう随時ミーティングや個別にて周知し徹底を図った。

5. 職員研修

- (1) 年2回の法人内の職員研修は新型コロナウイルスの影響のため今年度も正職員のための研修を行っている。
- (2) 新型コロナウイルスの影響のため、研修等の参加はZoom研修1回となった。今後はスキルアップを図れるよう積極的に参加する。

6. 事業所運営

- (1) 今年度も現状の職員数では男性利用者の対応が困難な場面があった。法人内各事業所との連携により対応することができ、支援、協力体制の強化につながられた。
- (2) 虐待防止チェックリストを活用し、話しにくい内容でも個々にて話をし、支援強化を図った。
- (3) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置した。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- (4) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画（BCP）を作成し、有事の際の対応を周知した。
- (5) 在宅介護サービスでは、通院介護4名、移動支援1名、身体介護3名増となり、職員1名減となっているため体制を整えていく。
- (6) 基本理念、基本指針をもとに、より一層丁寧な対応、支援の向上につなげていく。
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策の強化を徹底する。

7. コスモス学園松田センター

1. 事業内容 生活介護
2. 利用者在籍状況 定員 18 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	216
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
計	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24	300
退所												1	1
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

- (1) 令和2年度 109.7% 5,194名
(2) 令和3年度 105.5% 4,977名

4. 地域行事

新型コロナウイルスの影響で地域行事はすべて中止のため参加はなかった。

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

手作り灯籠やお香、オルゴールサウンドを使用し、リラックスした環境を設定できている。新型コロナウイルス感染対策のため、時間、参加人数を縮小して取り組めた。

(2) 運動

利用者個々の状況に合わせてプログラムを設定し、密にならないように少人数で行う環境を設定した。ストレッチ、ロング歩行、YouTubeを見ながらの体操など楽しく継続して取り組めた。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

カラオケは昼休みに行き、参加した利用者は曲に合わせて体を動かしたり、聞いたり楽しく参加できていた。利用者が選んだ曲に合わせて、手を叩いたり、楽器を演奏するなど、様々な利用者が楽しめた。

(4) DVD鑑賞

利用者が自己選択したDVDをニーズ別に上映し、密にならないように3か所に分かれて行った。自己選択をすることで、みんなで楽しくDVD鑑賞できていた。

(5) 外出活動

車の台数を増やして少人数で取り組んだ。新型コロナウイルス感染予防のため、車内は換気をし、商業施設には行かずに公園など人が少ない場所に行った。

(6) 奉仕活動

月2回実施している。松田センター周辺の公園やパークゴルフ場、川沿いで美化活動（ごみ拾い）を行った。利用者から挨拶をし、地域の方と話す場面もあった。

(7) 足湯

11月～3月に実施している。入浴剤を入れ、足をマッサージすることで利用者全員がリラックスして参加できていた。足元の血行促進にもつながった。

(8) 地域ボランティアとの交流

新型コロナウイルスの影響で今年度は実施しなかった。

(9) 法人内他事業所との交流

新型コロナウイルスの影響で今年度は実施しなかった。

(10) 日中活動全般

月1回の医療ケア会議はサービス管理責任者、看護師等が参加し情報共有ができた。看護師の出勤日数を多くして医療対応利用者の利用日数を増やすことができた。

6. 就労活動

(1) 制作活動

利用者個々に絵具や画用紙の色を選んで作成できていた。少人数で行い、1つの作品に時間をかけて完成まで作成することができた。

(2) コピー機部品の分解（リサイクル）・検査

作業工程を増やし、複数の利用者が作業を行うことができていた。全体的に集中できる時間も長くなった。

(3) 重機部品の組付け・検査

組付け作業の希望者が多く、様々な利用者が取り組んでいた。細かい作業で指先を使う工程が多いが、集中して行っていた。

(4) その他

就労継続支援B型と連携して内職作業（コア材詰め、アルミ曲げ、バンド作業）をたくさんの利用者が集中して取り組めた。

コスモス学園松田センター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 22 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
女	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	336
退所													
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和 2 年度 109.5% 6,299 名

(2) 令和 3 年度 109.5% 6,317 名

4. 工賃実績

(1) 平均工賃月額 14,627 円 (前年度 14,745 円)

(2) 平均工賃時給 200 円 (前年度 196 円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
対象	27	27	27	27	28	28	28	27	28	28	28	28	331
総額	392,150	370,060	353,000	376,900	354,970	332,860	361,550	377,260	373,280	367,920	320,610	860,860	4,841,420
日数	540	506	534	530	510	548	560	547	549	478	460	555	6,317
時間	2072	2015	2123	2024	1970	2076	2111	2103	2028	1830	1693	2134	24,179

5. 日中活動

(1) 奉仕活動（公益活動）

月 2 回、川沿いや新松田駅付近で美化活動（ごみ拾い）を行い、地域の方との交流も定着し、声をかけてもらうことが多かった。

(2) 廃品回収（公益活動）

古紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶等を法人内事業所、保護者に呼びかけて回収を行った。月 1 回、松田町指定の再生資源回収業者が回収した。

(3) 歩行

健康診断の結果や筋力維持の目的がある利用者は、ご家庭と話し合い個別に時間を設定して行った。作業の合間に行うことで気分転換もできていた。

(4) フリープログラム

作業終了後にストレッチの時間を設定し、気分転換をすることができていた。制作活動では、ちいきふくし博の作品製作を行った。利用者個々の個性が多く見られる作品が作成できた。

6. 就労活動

(1) コピー機部品の分解(リサイクル)・検査

Q社の受注が減り、作業量も少なくなっているが、納期が延びたことで、作業に携わる利用者が増えた。

(2) プラスチック製品の検査・計量

中沼ジョブセンターと連携を取り、様々な作業に取り組むことができた。計量ミスがあり、中沼ジョブセンターと連携し、作業方法の見直しを行った。

(3) 重機部品の組付け・検査

R社の受注は減った。細かい製品が多いため、利用者が手先を使った作業を中心に取り組むことができた。

(4) クリーニングされたタオルの選別、折り込み作業

毎日、複数の利用者が継続して取り組めた。繰り返し折り込み作業をすることで、自宅でも洗濯物をたためるようになった利用者もいる。

(5) その他受注作業

S社からの受注は増えている。月平均8万個程注文があるが、納期に間に合うように取り組めた。

(6) 清掃活動

生活介護棟、就労継続支援B型棟の2か所の清掃を行った。トイレや廊下、作業室を掃除機、モップで丁寧に行った。今年度は新型コロナウイルス感染予防で手すりや手が触れる場所のアルコール消毒も徹底して行えた。

(7) 施設外就労

T社のメール仕分け作業を継続して行った。現地従業員と連携を取り、機械を使った入力なども任せられるようになった。

ブルーベリー摘み取り作業は新型コロナウイルスの影響で今年度は中止となった。

U社の草刈り作業は継続して実施した。

B社での作業では、内職作業中心に常時3名の利用者が取り組んだ。

(8) その他

今年度、松田町のハーブガーデンに自主生産品のビーズや縫物製品を置き、販売をした。新型コロナウイルスの影響でバザーはなかったが多少の売上はあった。

7. 余暇活動（共通）

（1）生活介護レクリエーション

2月18日（金）午前は近隣の公園や川沿いで宝探しを行い、午後はスライドショー鑑賞を行った。外に行くことで密にならないように取り組めた。

（2）就労継続支援B型レクリエーション

2月18日（金）午前は3か所に分かれてゲーム大会、午後は4カ所に分かれて映画鑑賞を行った。

（3）生活介護バス旅行

新型コロナウイルスの影響で中止となった。

（4）就労継続支援B型バス研修旅行

新型コロナウイルスの影響で中止となった。

（5）クリスマス会

12月17日（金）新型コロナウイルスの影響で就労継続支援B型、生活介護に分かれて行った。職員出し物や利用者発表など少人数で楽しく取り組めた。

（6）クラブ活動

ドライブクラブ、音楽クラブ、運動クラブ、クラフトクラブの4つのクラブに分かれて月1回土曜日の午後に余暇で楽しんだ。

8. 職員研修（共通）

（1）6月11日（金）正職員で研修を行い、意思決定支援、虐待防止についての研修を行った。

利用者が言っていることがわがままととらえてしまう場面や支援者側の考えで、決めつけてしまうことが多くあると意見があった。利用者の障害特性の理解やコミュニケーションを日々取り関係性を築くことや職員の心のゆとりが大事だと感じた。今後「チーム」としてどのように支援を行い、利用者と接していくか考え直す良い機会になった。

（2）2月11日（金）正職員で研修を行った。午前の部では、新型コロナウイルス感染予防研修を行い、午後の部では、人権擁護研修とAEDの操作方法についての研修を行った。

感染予防の重要性、起きてからの対応、組織としての動きなど様々なことを今後考えていく必要があると感じた。利用者の急変時の対応では、AEDの使い方、冷静に対応する行動など命にかかわることを実感した。

9. 事業所運営（共通）

（1）虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置した。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人

権擁護の徹底を図った。

- (2) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画（BCP）を作成し、有事の際の対応を周知した。

10. 支援他（共通）

- (1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。※電話面談を行った。
- (2) 松田センター・あすなろ合同会議を毎月1回実施した。
- (3) 工賃会議を7月、12月に実施した。
- (4) 利用者健診
- ・健康診断を年1回実施した。
 - ・内科検診を年2回実施した。
 - ・歯科検診を年1回実施した。
 - ・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。

8. 相談支援事業所あすなろ

1. 事業内容 特定相談支援・指定障害児相談支援

2. 市町村別登録者数（令和4年3月31日時点）

市 町 村	人 数	市 町 村	人 数
小田原市	28	山北町	5
南足柄市	43	箱根町	1
大井町	19 (2)	秦野市	16
開成町	12 (2)	藤沢市	2
中井町	1	横須賀市	1
松田町	30 (8)		
		合 計	158 (12)

※ () は障害児相談利用者数。

3. 活動内容

(1) サービス等利用計画の作成

① 相談者の個性や環境に適した利用計画を立てる

相談者の取り巻く環境の変化に応じてサービスの追加、支給量の調整を図った。また、利用開始が円滑に進むよう事業所紹介、見学同行を実施した。

② 相談者の意思決定が適切に行われるよう情報提供、体験機会を作り、意思を尊重した利用計画を立てる

権利擁護の観点に基づいて、本人の言葉や思いを汲み取った支援計画を作成した。必要に応じて意思確認をする場を設け、支援関係者と情報共有を図った。

9月には神奈川県意思決定支援ガイドライン研修に参加し、意思決定支援への理解を深め、利用計画作成に活かしている。

③ 相談者の強みに着目し、相談者の力が生かされるよう利用計画を立てる

本人の興味や関心などから活動参加の意欲を引き出し、本来持っている能力を発揮できるよう、担当者会議の実施、事業所との連携を図った。

(2) モニタリング

① 厚生労働省の定める期間ごとの他、必要に応じて行う

相談者の状況に応じた面談や電話対応での聞き取りを行った。足柄上地区地域自立支援協議会相談支援部会で作成した書式の運用を始めた。

② 本人、家庭、事業所等の連絡を継続的に行う

通所事業所、訪問系サービス事業所等と連携を取り、相談者の状況確認をし、支援機関や家族、本人に継続的な働きかけを行った。

- ③ 必要に応じて計画変更、もしくは福祉サービス事業所や関係機関との連絡調整に努める。

本人、家族、支援提供事業所からの情報提供、サービス調整、会議設定を円滑に実施することができた。

(3) 地域における社会資源の活用

- ① 行政機関、福祉事業所、医療機関、他の相談支援事業所との連携を深める。

障害福祉事業所のみならず、行政のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー、病院の地域連携室など広く地域の関係機関と連絡を取り、本人に必要な社会資源の調整を行った。多職種が関わるケースでは定期的な担当者会議を行って情報共有した。

- ② 相談支援事業のネットワークに参加

県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター、小田原市基幹相談支援センターなどの相談支援に関わる研修に参加した。また、足柄上地区地域自立支援協議会相談支援部会の会議や茶話会などの参加を通じて相談支援事業所間での地域情報の共有を図った。

- ③ 地域生活支援拠点事業等の開始を見据え、スムーズな連携がとれるように必要な会議、打ち合わせに参加し、情報収集や関係を築いていく

相談支援連絡会等の地域の会議への出席を通じて、関係機関担当者から地域生活支援拠点事業等の動向について情報収集を行った。

4. 職員研修

- (1) 各種団体が開催する相談支援関係の研修に参加する

相談支援に関わる研修に参加し、相談支援の質の向上を図った。また、加算取得に向けて医ケア児支援者養成研修に参加し次年度以降の上位研修参加の準備をした。

- (2) 法人内の研修に積極的に参加する

法人実施の職員研修に参加をした。

- (3) リーダーシップ研修に参加する(リーダー層対象、法人内、各種団体)

リーダーシップ研修に該当する研修参加はなかったが事例検討会などの研修活動に複数職員での参加を呼び掛けて参加をした。

5. 事業所運営

- (1) 研修等を通じて計画作成におけるプロセス等の質の向上・充実に努める

県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター、小田原市基幹相談支援センターなどの相談支援に関わる研修に参加し、相談支援の質の充実・向上を図

った。

- (2) 法令の順守（理解）を徹底する。

支給決定のプロセスや受給要件などの確認を行い、適正なサービス受給を受けられるよう行政、関係機関と確認、協議を行った。

- (3) 日程調整、書類作成等のプロセスを見直しサービスの効率化を進める

事業所内での定期的な会議を行い、進捗確認、日程調整を実施し、効率化が図れた。

- (4) 経費削減を徹底する。

面談、書類提出、法人本部への事務処理など効率よく業務遂行ができるようにした。

- (5) 報酬改定に合わせた加算取得を進めていく。

5月に機能強化型サービス利用支援費（IV）、行動障害支援体制加算、精神障害者支援体制加算の取得申請をした。

- (6) 感染症対策を踏まえた柔軟な面談方法の確立、実施を進める。

直接対面での面談、電話での面談など本人やご家族の希望を踏まえつつ、感染症のまん延状況に合わせて柔軟な対応を行った。また、対面での面談時には感染予防として検温、消毒、換気などの環境を整備して相談者、面接者ともに安心して面談に望めるようにした。

6. その他

- (1) あすなろ登録者の計画相談、モニタリング面談を随時実施した。

- (2) 松田センター・あすなろでの毎朝の打ち合わせを行い、連携強化を進めた。

- (3) あすなろ部署会議を毎月1回実施した。

9. コスモスホーム

1. 事業内容 共同生活援助(介護サービス包括型)

短期入所(空床利用型)

2. 利用者在籍状況 定員30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひだまり	137	146	144	146	142	143	151	138	146	110	110	120	1,633
やまびこ	301	303	301	308	322	318	336	324	326	292	290	324	3,745
こもれび	324	326	324	324	324	324	337	323	331	290	275	311	3,813
合計	762	775	769	778	788	785	824	785	803	692	675	755	9,191
退居	1												1
入居					1								1

3. 平均利用率

(1) 令和2年度 82.8%

(2) 令和3年度 83.9%

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月20日	市・美化デー	中沼公民館・コスモスホーム周辺
9月5日	市・中沼自主防災訓練	中沼公民館(新型コロナウイルスのため中止)
11月7日	中沼自治会文化祭	中沼公民館(新型コロナウイルスのため中止)
11月14日	日向自治会文化祭	作品展示
3月13日	ワクワクのりのりコンサート	(新型コロナウイルスのため)中止

5. 支援内容

(1) 障害者の地域生活・地域移行について

前年度に続き新型コロナウイルスに左右される中、利用者の状態に応じ、自主性を保ち、一人ひとりの「ふつうに暮らす」を支援できるよう行政、医療、専門機関、日中事業所等と連絡調整を行っている。コスモスホーム会議、クルー会議、また現場において職員への技術指導および助言を行い、利用者の人格に十分に配慮しながら統一した支援を提供した。

(2) 日常生活能力の維持・向上

① 利用者の障害特性を踏まえ、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう「各自のできることを増やしていこう。」を継続目標とした。

ア やまびこ・こもれび

食器洗い、洗濯、布団干し、窓拭き等々、個々に進んでできるようになってきている。月のメンバー会議は前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎月書面にてコロナ禍における暮らし方を改めて伝えている。

イ ひだまり

昼薬、資料や段ボールを法人内の日中事業所に届けることを継続して行った。

② 服薬管理・金銭管理

服薬管理対象者 18 名（令和 2 年度 18 名・令和元年度 18 名）、塗布薬および季節等の配薬を含めると 24 名（令和 2 年度 22 名・令和元年度 28 名）であった。

金銭管理対象者 21 名（令和 2 年度 19 名・令和元年度 18 名）については利用者預り金規程に則り不備のないよう実施した。

③ 生活相談

ア 人間関係

例年同様に人間関係についての相談が多かった。人間関係については自分で解決できるよう支援している。自分で解決が困難な場合は溜め込まず職員に相談して解決につなげるよう支援している。安定した人間関係を維持できるよう支援を継続中である。

イ 体調面

身体の重度化・高齢化などに付随する内容の相談が多かった。関係機関（医療、行政、相談支援等）との連携がさらに求められている。また、間食等管理対象者 1 名（令和 2 年度 2 名・令和元年度 5 名）の支援を行うことで、体調面、メンタル面の安定と作業意欲向上につながっている。

（3）本人の望むサービスの提供

本人の意向を尊重し、モニタリングの実施でニーズを引き出し、支援計画の作成と見直しを行い心身の状況、その環境に応じて自立に向けた支援が提供できるよう取り組んだ。

（4）日中支援

心身の不良等により予定した日中活動サービスを利用できなくなった利用者や就労先欠勤の利用者に対する昼食提供や様子観察、通院同行等、関係機関への連絡調整は、法人内の日中事業所、居宅介護事業所との連携により十分な対応ができた。

新型コロナウイルスの感染者が出たことにより、利用者がコスモスホーム内で隔離された期間は法人内の職員の応援により危機を乗り切ることができた。

（5）通院同行

9 名の定期通院 101 件と 14 名の緊急・臨時通院 58 件（令和 2 年度 7 名の定期通院 66 件と 10 名の緊急・臨時通院 45 件）を実施し、利用者の健康増進、維持に

努めた。全体的に利用者が複数の定期通院や緊急通院の頻度が増えているため定期通院については法人内の居宅介護事業所の通院等介助の利用が増えている。臨時通院は今後もさらに増えることが想定されるため、対応職員の確保が必要となる。

(6) 地域活動

新型コロナウイルスの影響により、地域行事については大半が中止となったが、6月に実施した市の美化デー(清掃活動)には3名の利用者がコスモスホーム周辺の側溝の清掃などに参加することができた。継続して定期的に自治会などの関係機関と連絡を取り、次年度以降の活動につながるようにしている。

(7) 余暇活動

前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団での外出活動は控えて製作活動等にとどめている。個別での外出活動は少しずつ再開している。自立度の高い利用者は日用品の買い物等で外出している。また、移動支援を活用した外出活動(買い物、テイクアウト等)も行っている。

「県西地区グループホーム交流会」は前年度に続き新型コロナウイルスの影響により中止となった。外部行事についてもすべて中止となり(みんなのつどい、県西地区障害者文化事業、ワクワクのりのりコンサート)、ホーム行事の「バーベキュー大会」「忘年会」に関しては前年度同様に密を避ける方法に切り替えて実施した。

6. 職員研修

前年度に続き新型コロナウイルスの影響により研修が大幅に減少した中、オンラインなども活用し、利用者支援の質的向上、新型コロナウイルス感染症対策を目的に令和3年度は下記の研修に参加した。

6月11日(26日) 法人内事業所職員研修

「人権擁護と意思決定支援について」

7月29日 新型コロナウイルス感染症予防対策説明会(ZOOM)

8月10日 新型コロナウイルス感染症予防対策&地域BCP意見交換会

9月6日 新型コロナウイルス感染症予防対策&地域BCP意見交換会

7. 事業所運営

(1) 防犯対策

引き続き各棟ごと施錠の徹底を行った。

(2) 新型コロナウイルス感染

- ① 法人内の日中事業所にて感染者発生により、コスモスホームとして全員の陰性が確認されるまでの間(1月19日~1月28日)ユニット間の移動自粛等必要な措置を講じた。また2月18日に利用者1名が感染し、その後も数名の利用者、職

員が感染し(法人全体では 35 名)、やまびこ 2 階(2 月 18 日~2 月 27 日)、こもれび 1 階(2 月 21 日~3 月 2 日)、やまびこ 1 階(2 月 22 日~3 月 3 日)がレッドゾーンとなった。

「新型コロナウイルス事業継続計画」のもと保健所の指導も仰ぎながらユニット間の移動自粛、防護服の着用等徹底した対応を取った。

- ② 感染終息後は、3 密の回避、自室での食事、定期的な消毒の徹底、支援員の N95 マスクの着用等を継続して感染症対策に努めた。課題としては、より細かなマニュアル(支援マニュアル)の整備が必要となった。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

生活全般の見直しは継続して行い、「食事は原則自室で食べる」を利用者の協力を得て実施している。一部ヘルパー等を利用している利用者に関してはリビングを使用している。また、居室以外のマスク着用の徹底、定期的な手洗い、手指消毒、共有スペースの定期的な消毒は継続して実施した。

8. 支援他

- (1) 利用者の課題を共有し、本人、保護者の意向を汲み取り適切な支援を実施するため、コスモスホーム会議 12 回(月末の土曜日)、クルー会議 12 回(月末の水曜日)、メンバー会議 12 回(新型コロナウイルス感染予防のため前年度同様に今年度は書面のみ会議)、個別支援計画作成のための面談を 3 回実施した。

前年度に続き現在居住している利用者の土日の利用が増えたことにより、利用率は前年度より 1.1%増となった。

- (2) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置した。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- (3) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を作成し、有事の際の対応を周知した。

9. 短期入所事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4 月 1 日より原則として受入は控えている。ただし、緊急性の高い場合については受入を実施した。今年度の新規契約については 0 名、利用総数については 17 名(令和 2 年度 99 名)となった。短期入所利用の要望は高いが、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、どのように事業を継続していくかが課題となった。